

文政元(1818年)戊寅(つちのえとら)年8月 西村家による製作

伊能忠敬の没年(測量家 享年73)

八月吉日
西村和泉守
土岐郡大富村竈郷東組



文政元戊寅年



念佛講連中



伏鉦(ふせがね) 鉦鉦(しょうご)とも言う

本来下の写真のように伏せて使用するため3本の足が付いている「西村和泉守」は、江戸神田の鋳物師で、延宝年間(1673~)から大正時代まで11代続いた家で、代々同じ銘を使っているようです(西村家以外でこの銘を使用した鋳造品が見つまっているようです)



「かま」の字は正しくは竈と思われれるが略字の竈が使われている。(竈のフロントは作成した)



寄進
高橋

